

~湘北地区の人口&世帯数~

	人	増減	世帯	増減
鶴が台	5,201	(- 36)	2,514	(+ 0)
香川	11,435	(- 46)	4,340	(- 10)
松風台	1,555	(- 2)	601	(+ 0)
甘沼	5,341	(+ 13)	2,096	(+ 19)
みずき	2,304	(+ 109)	817	(+ 33)
湘北地区	25,836	(+ 38)	10368	(+ 42)
	人		世帯	
茅ヶ崎市	234,400	(+ 472)	93775	(+ 391)

2010年(平成22年)2月1日現在



2010年(平成22年)3月1日(月)
 発行者 湘北地区社会福祉協議会
 会長 青木 有俱
 湘北地区 平成22年2月1日現在
 世帯数 10,368 世帯(+42)
 人口 25,836人(+38)
 印刷 タマノ薬局/くすりの玉野
 TEL (0467) 54-7622
 発行部数 10,000部

ホームページ 『湘北地区社協』検索 手助けが必要な時 ボランティアセンター (0467) 27-2030



ボランティアセンター 香川2丁目

湘北地区 ボランティアセンター ボラセンだより

湘北地区ボランティアセンターが香川二一八 一七の平屋一戸建に移転してから一年になります。地域の皆様のお目に止まっていますでしょうか。
 外観は何の特徴もなく見過ごしてしまいがちな家ですが、湘北地区のボランティア活動の拠点として生活を支える活動の場となっています。
 毎週月曜日と木曜日の午前十時から十二時まで、受付業務として電話や来所等で生活支援の相談を行っています。また、毎週金曜日午前中は「ほっとライン」で、これは独居高齢者へ電話して安否を確認する見守りの支援です。さらに敬愛訪問があり、高齢の方々に訪問して話し相手をしなから、孤独感を和らげ、安心して暮らして頂く支援をしております。今年度はまだ年度途中ですが、一月十八日現在の生活支援の利用件数は百二十八件で、昨年より増加しており、ボランティアセンターが地区に徐々に浸透して来ていることを感じます。介護保険では出来ない「ちょっと手を貸してほしい」という時思い出して御利用下さい。留守電も利用できます。

まちたんけん

湘北地区の地域福祉を考える懇談会主催
 平成二十二年一月十一日(月)、午前十時香川駅に集合し、二つのコースに分かれて車椅子に乗って街を探検して見ようとオリエンテーションを行いました。市の福祉総務課、茅ヶ崎市社会福祉協議会、地域包括支援センター「あかね」、福祉施設「下宿屋」、懇談会実行委員会グループの方々の約三十名が参加しました。コースは 香川駅 駅トイレ 「下宿屋」 クラウン 香川自治会館 香川小学校五叉路 ボランティアセンター、と 香川駅 クラウン 「下宿屋」 香川第一青少年広場 香川小学校五叉路 ボランティアセンターでした。ボランティアセンターで意見交換を行った結果、危険個所や上り坂、下り坂での車椅子に乗っている人、押す人の体験から、問題点、



まちたんけん 「あっ！手が届かない！」



まちたんけん 車いすで下り坂

感じたこと等、左記のような沢山の意見が出ました。
 車椅子に乗って物を落とすと拾えない。
 香川教会前にセンターラインがあると良い。
 道路に針が出ている所がある。
 車とのすれ違いの時、道路が狭くて怖い。
 香川駅トイレ入口の歩道が狭い。
 道路の凸凹に車輪が挟まる。
 公衆電話の受話器に手が届かない。
 切符や飲物の自販機は背が高すぎる。
 意見交換会の後、美味しいお汁粉を頂きました。車椅子の方の大変さがよく理解出来、改善したいところは早め改善したいと思えます。

横浜市東本郷社協 視察研修報告

送迎サービスを地区で行なっている「東本郷地区社会福祉協議会」
 送迎一回につき 円として有料で行なう送迎活動は、現在「白タク」行為として違法であり行なうことができません。一方、高齢や身体不自由で家族などによる支援が困難な家庭も増え、地域での「送迎」の要望はとて高くなってきています。
 十一月、市社会福祉協議会で横浜市東本郷地区社協の「送迎サービス」の運営状況を視察に行きました。横浜市にはたくさんの「ケアプラザ」があり、地区社協の拠点、ボランティアセンターとして、団地を含む五千世帯のこの住宅地で住民の福祉活動を行なっています。
 勿論家事支援もございしますが「送迎サービス」は、年間五百二十件の利用(無料)があり、ボランティアには実費弁償が社協から支払われます。地区社協所有車(車椅子対応、寄付)一台と各ボランティア(十六名)の車で行なわれ、活動に当たっていつも問題となる責任、自動車障害保険には、全国社協送迎サービス補償と送迎者自己負担(任意保険)が充てられています。
 利用者に喜ばれる一方、ボランティアのリスクは高く、このサービスの抱える責任と危険を感じながらも行なっている地区社協会長・関係者の熱意なくしては行なえないことに心打たれました。
 茅ヶ崎市にも福祉有償運送認可と市社協の個人送迎があります。湘北地区社協でも考えていく大きな課題でもあります。

県福祉センター湘南くすの木

視察研修ツアー報告

一月十四日に神奈川県聴覚障害者福祉センターと特別養護老人ホーム「湘南くすの木」を視察しました。前者のセンターでは、加齢による聴覚不安の検査もして頂けるそうです。

耳の不自由な方は手話や筆談を伝達の手段として使います。生まれつき聞こえない方はその事を障害と意識してないそうです。その様な方との会話の不自由な理由に私達は聞こえない事を挙げていませんか。見方を変えたと手話の出来ない私達の方が障害者なのかも知れません。外見では気付かない聴覚障害は、社会の理解が少ない事を聞き、もつと気軽に筆談を使い手話が出来るとお互いの距離がずっと近づくと知りました。

後者のホームも全個室で入居している方の表情も明るく、部屋着で日常生活を過ごしており想像を超えたよい雰囲気でした。社協で手話が普及したら湘北地区の社会福祉も一歩前進すると感じました。

甘沼子育てサロン

「スイートポテト」発足



甘沼子育てサロン
スイートポテトで遊ぶ

子育て中の保護者は育児仲間と出会う場所が少なく、不安な思いや地域に馴染めないなどの状況が見受けられる場合があります。甘沼子育てサロン「スイートポテト」では、母親、もしくは身近な家族だけで子育てするのではなく、広い視野で子育てを見守る環境づくりを進めます。同時に、地域の情報交換の場となり、集い語らいの場として、仲間作りに発展出来ればと考えます。子供がのびのびと遊べる環境の中で、育ち合いの場となるよう、利用者の多様な思いに寄り添って行きたいものです。十月にスタートしてからまだ四回の開催ですが、利用者も常に平均十組を迎え、ボランティアスタッフも二十名になりました。また、茅ヶ崎市子育て支援課、甘沼自治会、甘沼社協、さらに甘沼地区にお住まいの方々から玩具の寄付や安全面へのアドバイス等、様々な形の援助をたくさん頂きました。感謝の気持ちを利用者への愛情に変えて一同頑張つて参ります。

香川公民館まつり

バザーに参加して

十月三十一日土曜日に参加しました。当日は好天に恵まれ、湘北社協の七つの地域から二十五名の方たちが朝八時半に公民館に集合しました。

百丁のコンニャクを大鍋でゆがき、鯉のダシで味を付け、採りたての柚子を絞って練った香のよい味噌おでんが出来ました。百人分以上のカレーライス、つくりも地元産のジャガイモ、人参、玉葱に豚肉を炒めて煮あげ、味を深めるためにリンゴやコーヒークリームやニンニク

を加えるなど工夫を重ねて美味しく仕上げました。

綿菓子にも長い列が出来ました。作る人たちは、前髪に飴を付けながらの奮闘でした。水飴せんべいと水飴のパック詰め、ゆず味噌パック、あじ味噌パックとウーロン茶を用意して公民館まつりに参加した皆さまに買っていたいただきました。

地区社協の活動のPRのためにボランティアセンターのチラシと十一月に開催されるボランティア講座のチラシの配布もいたしました。売上金は地域の福祉活動に使わせていただきます。ご協力頂きました皆さまに感謝をいたします。(公民館まつり実行委員会)

ボランティア入門講座

受講して

母の介護の折の経験から、少しでも困っている方のお役に立ちたい思いが以前からありました。

ボランティア入門講座を受講するチャンスを得て、牧岡英夫先生、「共育ひろば」主宰のお話、体験学習、地域活動の紹介を聞き、力まずさらりと活動している様子にボランティア活動に何か協力出来たらと思えました。漠然としていたボランティア活動に一歩、歩みが進みました。

福祉大会

茅ヶ崎市社協から感謝状

秋に開かれる茅ヶ崎市社会福祉協議会の福祉大会で、社協活動に功績のあった方に毎年感謝状が贈呈されています。今年度は第三十回大会ということもあり、新たに市内十二の地区社協の活動に功績のあった方に感謝状の贈呈がありました。今後継続される予定

とのことです。湘北地区では平成元年から副会長・事務局長・会長として永年活動を続けてこられた青木会長に感謝状が贈られました。

青木会長のコメント 市社協からの感謝状を最初に受けることになり光栄ではあります。大変恐縮している次第です。湘北地区では役員・理事メンバーがそれぞれの役割を分担する形がしっかり定着しており、活動も大変活発です。私が永年役員を続けて来られたのもそのお蔭と想っています。このたびの感謝状も地区の役員・理事全体への「感謝状」と考えております。これから地域での社協活動の一翼を担うことが出来れば幸いです。

最近のホームページから

『湘北地区社協』で検索

◇ 「きらきらぼし」の活動紹介。

◇ 「子育て支援の広場」や新聞が紹介されています。

◇ 健康づくり講座「楽しく食べて元

気になろう」三月十三日(土)午

後一時三十分から香川公民館にて

◇ 第三回「ボランティア入門講座」

終了報告。

参加者の感想が収録されています。

健康一口メモ～毎日の食生活バランスよく！

- マ・・・ま 豆類
ゴ・・・ご ごま
ワ・・・わ ワカメ
ヤ サ・やさ 野菜(赤緑黄)
シ イ・しい シイタケキノコ



編集スタッフ

- 吉田正一 (松風台)
春日 勇 (みずき)
馬崎章光 (甘沼)
山本茂樹 (香川)
沓澤幸子 (香川)
倉林民子 (鶴が台)
内野義生 (ライトワウ)
印刷
玉野浩久 (ライトワウ)

編集後記

今年は「見やすく」「役に立つ」「便利なもの」をと、スタッフで工夫し、ひとまわり大きいA3版で発行となりました。いかがでしたでしょうか？寄稿ご協力いただきました皆様、印刷ご協力いただきました玉野様、スタッフの皆様、まことにどうもありがとうございました。これからも地域社会福祉の情報発信「湘北」～湘北社会福祉協議会をどうぞよろしくお願いいたします。(うちべいびい)

茅ヶ崎市福祉便利帳 - 福祉施設と相談窓口

Table with 4 columns: NO, 名称, 所在, 電話. Lists various welfare facilities and their contact information.